

楽天・オールカントリー株式 インデックス・ファンド 〈愛称：楽天・オールカントリー〉

追加型投信/内外/株式/インデックス型

交付運用報告書

第1期（決算日 2024年7月16日）

（作成対象期間 2023年10月27日~2024年7月16日）

受益者の皆様へ

平素は当ファンドにご投資いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび上記決算を行いました。当ファンドは、「楽天・日本株式インデックス・マザーファンド」「楽天・先進国株式（除く日本）インデックス・マザーファンド」「楽天・エマージング株式インデックス・マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主として全世界の株式(DR(預託証券)を含みます。)に投資し、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(円換算ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行いました。ここに当期間の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

楽天投信投資顧問株式会社

<https://www.rakuten-toushin.co.jp/>

東京都港区南青山二丁目6番21号
本資料(交付運用報告書)の記載内容のお問い合わせ先
TEL：03-6432-7746

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで
※お客様のお取引内容等につきましては販売会社にお問い合わせください。

Rakuten 楽天投信投資顧問

当期末	
基準価額	13,851円
純資産総額	185,200百万円
騰落率	38.5%
分配金合計	0円

(注)騰落率は分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページアドレスにアクセス

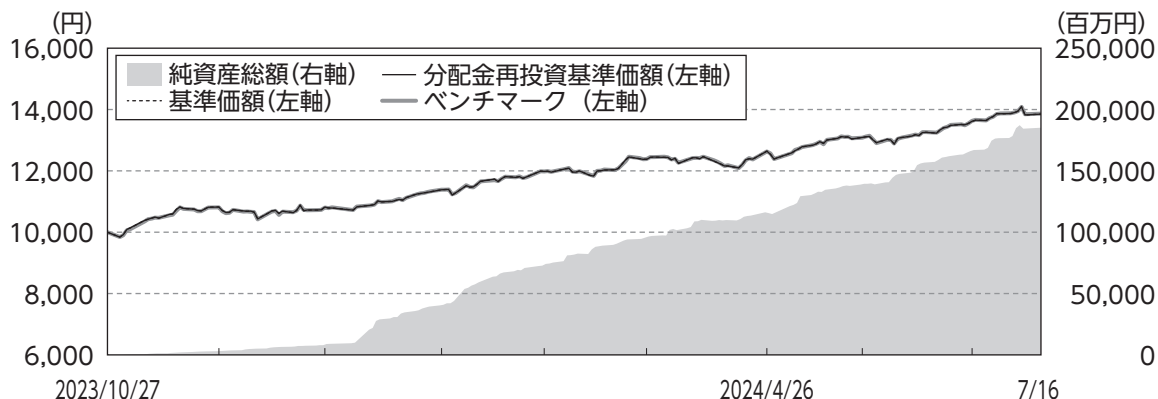
⇒「基準価額一覧」から当該ファンドを選択

⇒「運用報告書(全体版)」を選択し、閲覧およびダウンロード

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



設定日：10,000円

期 末：13,851円(既払分配金0円)

騰落率：38.5%(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) ベンチマークは、MSC I オール・カンントリー・ワールド・インデックス(円換算ベース)です。詳細につきましては4ページをご参照ください。
- (注4) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、設定日の基準価額を起点として指数化しています。
- (注5) 設定日の基準価額には当初設定価額を、純資産総額には当初設定元本を用いています。

2 基準価額の変化要因

当ファンドは「楽天・日本株式インデックス・マザーファンド」受益証券、「楽天・先進国株式(除く日本)インデックス・マザーファンド」受益証券および「楽天・エマージング株式インデックス・マザーファンド」受益証券(以下、「マザーファンド」)を通じて主として全世界の株式(DR(預託証券)を含みます。)に投資し、MSC I オール・カンントリー・ワールド・インデックス(円換算ベース)(以下、「ベンチマーク」)に連動する投資成果を目標として運用を行っています。

当期の基準価額は大幅に上昇しました。先進国を中心にグローバルに株価が堅調に推移したほか、米ドルも対円で上昇し、基準価額を押し上げました。

3 1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	2023年10月27日～2024年7月16日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	5円 (2) (2) (2)	0.040% (0.013) (0.013) (0.013)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は11,821円です。 ・委託した資金の運用の対価 ・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 ・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券) (先物・オプション)	3 (1) (0) (1)	0.022 (0.012) (0.000) (0.010)	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株式) (投資信託証券)	7 (7) (0)	0.059 (0.059) (0.000)	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用) (その他)	2 (2) (-) (0) (0)	0.020 (0.017) (-) (0.000) (0.003)	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用 ・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料、その他投資信託財産の運営にかかる費用等
合 計	17	0.141	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

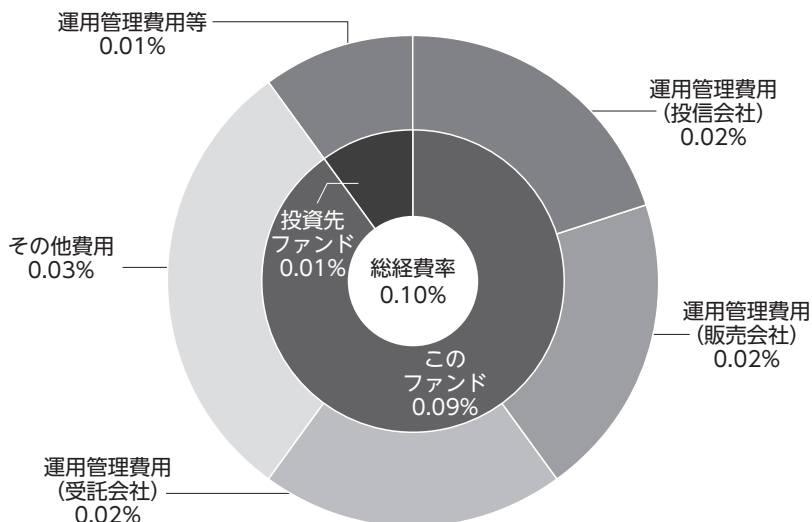
(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ (参考情報) 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.10%です。



総経費率 (①+②)	0.10%
①このファンドの費用の比率	0.09%
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	0.01%

(注1) このファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) このファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

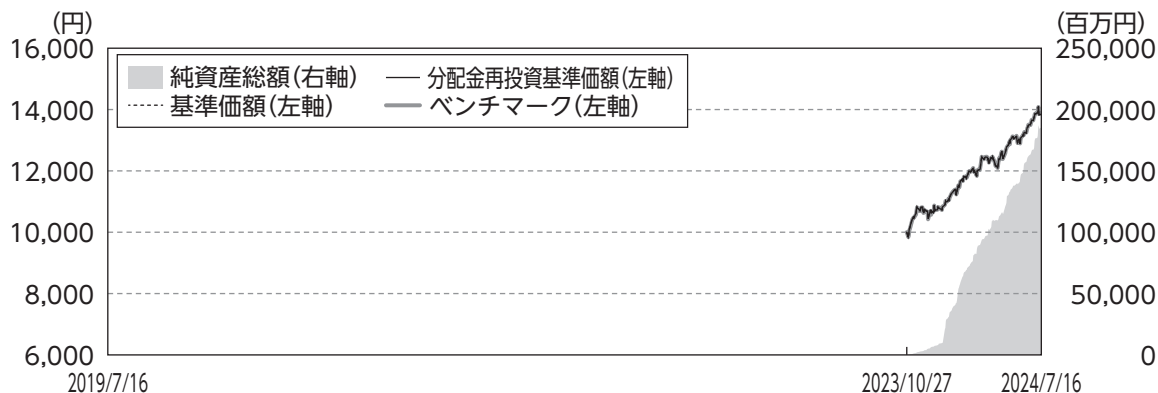
(注6) このファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

4 最近5年間の基準価額等の推移

(2019年7月16日～2024年7月16日)



		2023年10月27日 設定日	2024年7月16日 決算日
基準価額	(円)	10,000	13,851
期間分配金合計(税込)	(円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率(%)	(%)	—	38.5
ベンチマーク騰落率	(%)	—	38.7
純資産総額	(百万円)	1	185,200

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) ベンチマークは、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(円換算ベース)です。詳細につきましては以下をご参照ください。
- (注4) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2023年10月27日の基準価額を起点として指数化しています。
- (注5) 設定日の基準価額には当初設定価額を、純資産総額には当初設定元本を用いています。

ベンチマークは、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(円換算ベース)です。「MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス」は、日本を含む世界の先進国、新興国市場における大型および中型の上場株式で構成されており、全世界の株式市場の動きをとらえた株価指数です。なお、「MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(円換算ベース)」は、委託会社が「MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス」に日々の為替レートを乗じて算出したものです。

5 投資環境

当期のグローバル株式市場は、上昇しました。

期初より、FRB(米連邦準備制度理事会)に対する追加利上げ観測の後退や利下げ転換への期待が急速に広がり、米国中心に金利低下圧力が強まるなか、株式市場は上昇基調で推移しました。2024年に入ってから、金利が上昇基調に転じたものの、米国経済がソフトランディング(軟着陸)することや中国当局による景気刺激策への期待などを背景に株式市場の騰勢は継続しました。4月には、米国において、物価や雇用関連指標の上振れにより早期利下げ観測が大きく後退したことなどから、株式市場は一時調整する局面があったもののすぐに反発し、AI(人工知能)関連の需要拡大見通しなどを背景に期末まで堅調な推移が継続しました。

期を通してAI関連需要の拡大が株式市場の大きな投資テーマとなるなかで、ハイテク関連セクターが大きく上昇し、同セクターの比率の高い米国や台湾などの株価指数の上昇が目立ったほか、日本も日経平均株価が約34年ぶりとなる史上最高値を更新するなど堅調な展開となりました。一方、景気や不動産市場に対する不透明感から中国は上値の重い展開となりました。

当期の為替市場では米ドルをはじめ主要通貨に対し、円安が進みました。

米ドル/円相場では、大幅に米ドル高/円安が進行しました。米金利の上昇が一服するなか、2023年末にかけては一時、1米ドル=141円割れの水準まで米ドル安/円高が進行したものの、年明け以降は、堅調な米雇用関連指標や燦るインフレ懸念、FRB高官による早期利下げけん制発言などを受けた米金利の上昇を受けて反転し、米ドル高/円安基調となりました。日本銀行が金融政策決定会合にてマイナス金利解除などの政策修正を決定したタイミングや、日本当局による為替介入があった際には、一時的にまとまって円高に振れる場面がありましたが、低い金利の円を借りて米ドル等の外貨に換え、期待リターンの高い資産に投資する円キャリー取引への需要が根強かったことなどから円安圧力は衰えず、2024年6月から7月にかけては1米ドル=160円を超える水準まで米ドル高/円安が進みました。

米ドルに対する円の下落基調が強まるなか、ユーロ、英ポンド、豪ドル等の主要な先進国通貨や、人民元、台湾ドル、インドルピーといった新興国通貨に対しても円売り圧力が優勢な局面が続きました。

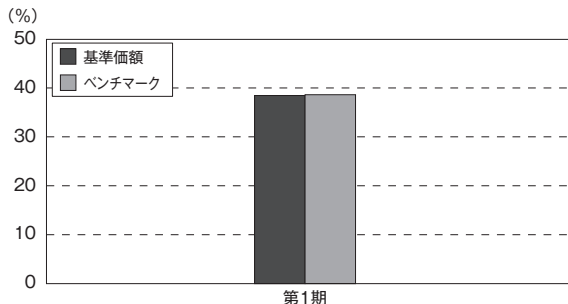
6 当ファンドのポートフォリオ

追加設定・解約による資金フローを鑑みながら、マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。

7 当ファンドのベンチマークとの差異

以下のグラフは、当ファンドの基準価額(分配金込み)とベンチマークの騰落率の対比です。

当期の基準価額の騰落率は+38.5%上昇し、ベンチマーク比では△0.2%となりました。主な差異要因としては、マザーファンドにおける継続的な資金流出に伴う現物株式やETF、株価指数先物取引の売買執行コストの積み重なり、保管費用等のコスト負担、ベンチマークと投資先ETFや株価指数先物取引とのパフォーマンスの差異、ベンチマークとマザーファンドの為替評価タイミングの乖離、ベンチマークとマザーファンドで適用される配当課税の税率の差異、当ファンドにおける信託報酬等の要因が挙げられます。



8 分配金

運用の基本方針等を勧告し、収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

(1万口当たり・税込)

項 目	第1期	
	2023年10月27日~2024年7月16日	
当期分配金 (円)	—	
(対基準価額比率) (%)	(—)	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	3,850	

(注1)「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3)「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

引き続きマザーファンドの組入比率を高位に維持することで、ベンチマークに連動する投資成果を目標として運用を行います。

お知らせ

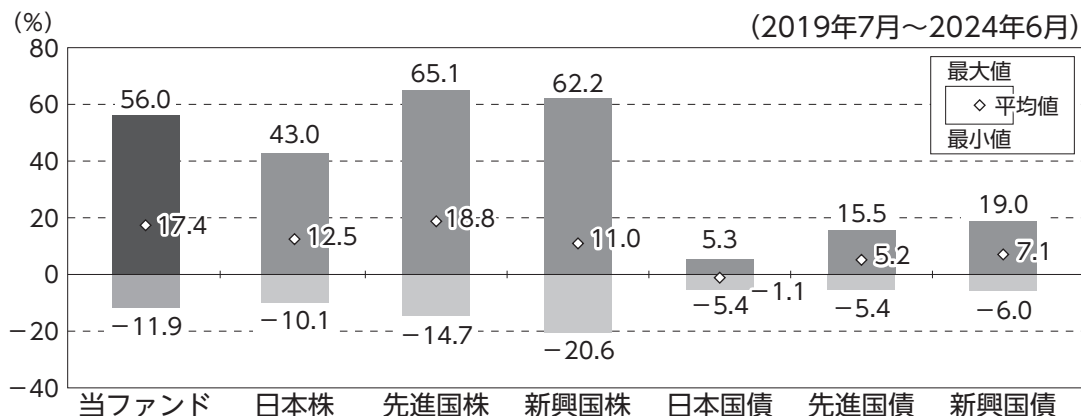
信託報酬を引下げるため、投資信託約款へ所要の変更を行いました。

(約款変更実施日：2023年12月1日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限(2023年10月27日設定)	
運用方針	全世界の株式市場の動きをとらえることを目指して、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(円換算ベース)に連動する投資成果を目標として運用を行います。	
主要投資対象	楽天・オールカンントリー株式インデックス・ファンド	「楽天・日本株式インデックス・マザーファンド」「楽天・先進国株式(除く日本)インデックス・マザーファンド」「楽天・エマージング株式インデックス・マザーファンド」(以下、総称して「マザーファンド」といいます。)受益証券を主要投資対象とします。
	楽天・日本株式インデックス・マザーファンド	わが国の金融商品取引所に上場している株式を主要投資対象とします。
	楽天・先進国株式(除く日本)インデックス・マザーファンド	日本を除く先進国の株式を主要投資対象とします。
	楽天・エマージング株式インデックス・マザーファンド	新興国の株式を主要投資対象とします。
運用方法	<p>①マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として全世界の株式(DR(預託証券)を含みます。)に投資し、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(円換算ベース)に連動する投資成果を目指します。</p> <p>※マザーファンドにおいては、ベンチマークとの連動性を維持するため、株価指数との連動をめざすETF(上場投資信託証券)、株価指数を対象とした株価指数先物取引を利用することがあります。</p> <p>※マザーファンドの投資信託財産の規模やマザーファンドへの資金流入の規模によっては、ETFや株価指数先物取引への投資割合が相対的に大きくなる場合があります。</p> <p>②マザーファンド受益証券への投資割合は、原則として高位を維持します。</p> <p>③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
分配方針	<p>分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p> <p>留保益の運用については特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。</p>	

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1)当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるよう、上記5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したもので、決算日に対応した数値とは異なります。

(注2)当ファンドは、設定日から基準日まで1年経過していないため、ベンチマークの年間騰落率を表示しております。従って、当ファンドの実績ではありません。

(注3)すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの騰落率は以下の各指数の騰落率です。

日本株：S&P日本総合指数(トータル・リターン、円ベース)

先進国株：S&P先進国総合指数(除く日本、トータル・リターン、円換算ベース)

新興国株：S&P新興国総合指数(トータル・リターン、円換算ベース)

日本国債：ブルームバーグ・グローバル国債：日本インデックス (円ベース)

先進国債：ブルームバーグ・グローバル国債 (日本除く) インデックス (円ベース)

新興国債：ブルームバーグ新興市場自国通貨建て高流動性国債インデックス (円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※上記各指数に関する知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

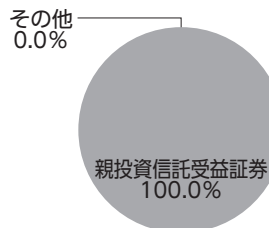
当ファンドのデータ

1 当ファンドの組入資産の内容

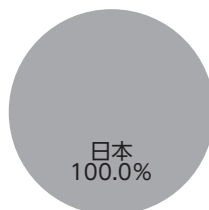
■組入ファンド

	当期末
楽天・先進国株式(除く日本)インデックス・マザーファンド	84.6%
楽天・エマージング株式インデックス・マザーファンド	10.2%
楽天・日本株式インデックス・マザーファンド	5.2%
その他	0.0%
組入ファンド数	3

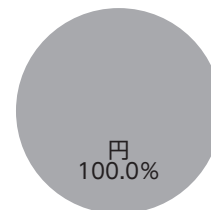
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注2) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

2 純資産等

項 目	第1期末
	2024年7月16日
純 資 産 総 額	185,200,021,028円
受 益 権 総 口 数	133,711,606,720口
1万口当たり基準価額	13,851円

※期中における追加設定元本額は141,192,256,568円、同解約元本額は7,481,649,848円です。

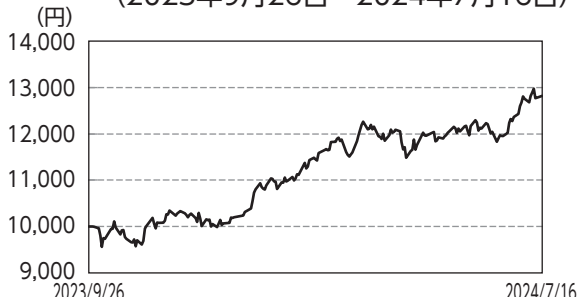
3 組入ファンドの概要

楽天・日本株式インデックス・マザーファンド

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

(2023年9月26日～2024年7月16日)



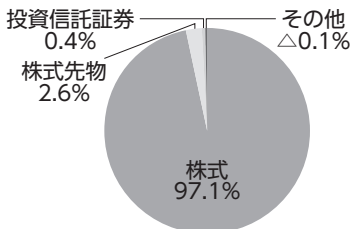
(注)設定日の基準価額には当初設定価額を用いています。

■組入上位10銘柄

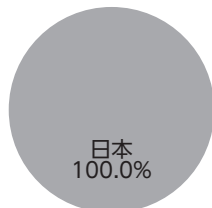
現物資産上位10銘柄

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1	トヨタ自動車	株式 輸送用機器	円	日本	5.4
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	株式 銀行業	円	日本	3.1
3	ソニーグループ	株式 電気機器	円	日本	2.9
4	日立製作所	株式 電気機器	円	日本	2.7
5	東京エレクトロン	株式 電気機器	円	日本	2.6
6	キーエンス	株式 電気機器	円	日本	2.2
7	リクルートホールディングス	株式 サービス業	円	日本	2.2
8	三井住友フィナンシャルグループ	株式 銀行業	円	日本	2.1
9	信越化学工業	株式 化学	円	日本	1.9
10	ソフトバンクグループ	株式 情報・通信業	円	日本	1.8
組入銘柄数			203銘柄		

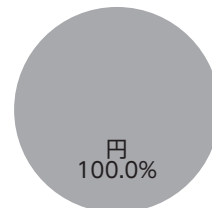
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、株式先物は実質エクスポージャーを基に計算しています。

(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

■1万口当たりの費用明細

(2023年9月26日～2024年7月16日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	9円	0.084%
(株式)	(9)	(0.082)
(投資信託証券)	(0)	(0.001)
(先物・オプション)	(0)	(0.002)
(b) その他費用	0	0.000
(その他)	(0)	(0.000)
合計	9	0.084
期中の平均基準価額は11,154円です。		

(注)費用項目については2ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

(2024年7月16日現在)

派生商品上位10銘柄

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1	ミニTOPIX先物	株式先物(買建)	円	日本	2.6
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数			1銘柄		

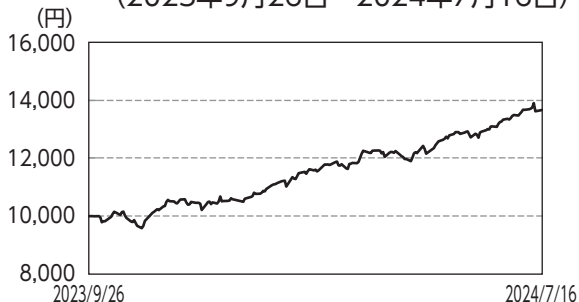
3 組入ファンドの概要

楽天・先進国株式(除く日本)インデックス・マザーファンド

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

(2023年9月26日～2024年7月16日)



(注)設定日の基準価額には当初設定価額を用いています。

■1万口当たりの費用明細

(2023年9月26日～2024年7月16日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式) (先物・オプション)	3円 (1) (1)	0.022% (0.011) (0.011)
(b) 有価証券取引税 (株式)	9 (9)	0.079 (0.079)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	3 (2) (0)	0.022 (0.021) (0.001)
合計	15	0.123

期中の平均基準価額は11,451円です。

(注)費用項目については2ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

■組入上位10銘柄

現物資産上位10銘柄

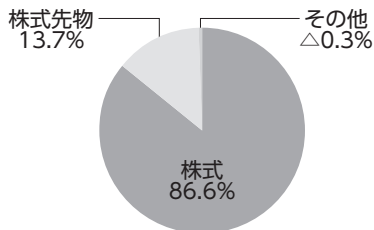
順位	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1	APPLE INC	株式 テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	アメリカ	4.6
2	NVIDIA CORP	株式 半導体・半導体製造装置	米ドル	アメリカ	4.3
3	MICROSOFT CORP	株式 ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	4.3
4	AMAZON COM INC	株式 一般消費財・サービス流通・小売り	米ドル	アメリカ	2.4
5	ALPHABET INC	株式 メディア・娯楽	米ドル	アメリカ	1.5
6	META PLATFORMS INC	株式 メディア・娯楽	米ドル	アメリカ	1.5
7	ALPHABET INC	株式 メディア・娯楽	米ドル	アメリカ	1.3
8	ELI LILLY AND COMPANY	株式 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	1.0
9	BROADCOM INC	株式 半導体・半導体製造装置	米ドル	アメリカ	1.0
10	TESLA INC	株式 自動車・自動車部品	米ドル	アメリカ	1.0
組入銘柄数		1,226銘柄			

派生商品上位10銘柄

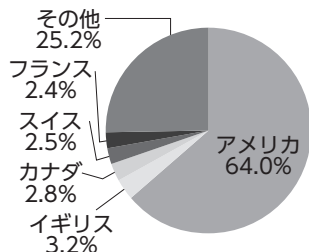
(2024年7月16日現在)

順位	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1	S&P 500 EMIN	株式先物(買建)	米ドル	アメリカ	10.6
2	EURO STOXX 5	株式先物(買建)	ユーロ	ドイツ	1.4
3	FTSE 100 IDX	株式先物(買建)	イギリスポンド	イギリス	0.6
4	S&P/TSX 60 I	株式先物(買建)	カナダドル	カナダ	0.5
5	SWISS MKT IX	株式先物(買建)	スイスフラン	スイス	0.4
6	SPI 200 FUTU	株式先物(買建)	オーストラリアドル	オーストラリア	0.3
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-
組入銘柄数		6銘柄			

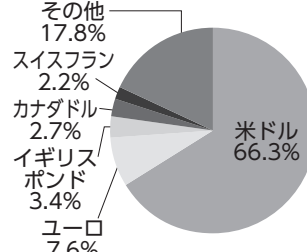
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、株式先物は実質エクスポージャーを基に計算しています。
(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

3 組入ファンドの概要

楽天・エマージング株式インデックス・マザーファンド

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

(2023年9月26日～2024年7月16日)



■1万口当たりの費用明細

(2023年9月26日～2024年7月16日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券) (先物・オプション)	2円 (0) (2)	0.017% (0.000) (0.017)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	1 (1) (0)	0.013 (0.013) (0.000)
合計	3	0.030

期中の平均基準価額は10,801円です。

(注)費用項目については2ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

■組入上位10銘柄

現物資産上位10銘柄

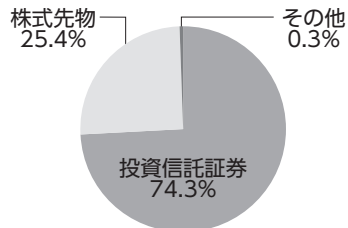
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	iシェアーズ・コア 国際 エマージング・マーケット ETF	投資信託証券	米ドル	アメリカ	74.3%
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数		1銘柄			

(2024年7月16日現在)

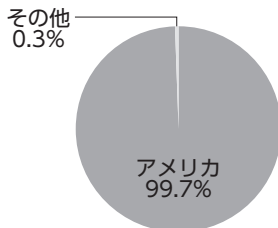
派生商品上位10銘柄

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	MSCI EMERG M	株式先物(買建)	米ドル	アメリカ	25.4%
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数		1銘柄			

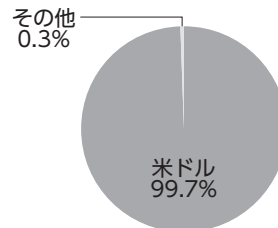
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、株式先物は実質エクスポージャーを基に計算しています。
(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

当ファンドは、MSCI Inc. (以下、「MSCI」といいます。)、その関連会社、情報提供者その他MSCI指数の編集、計算または作成に関与または関係した第三者(以下、総称して「MSCI関係者」といいます。))によって支持、保証、販売または販売促進されるものではありません。MSCI指数は、MSCIが独占的に所有しています。MSCIおよびMSCI指数の名称は、MSCIまたはその関連会社のサービスマークであり、楽天投信投資顧問株式会社による特定の目的のために使用が許諾されています。MSCI関係者は、当ファンドの受益者または不特定多数の公衆に対して、ファンド全般的または当ファンド自体に対する投資適合性、または対応する株式市場のパフォーマンスをトラックしているMSCI指数の能力につき、明示的か黙示的かを問わず何ら表明または保証をするものではありません。MSCIまたはその関連会社は、特定のトレードマーク、サービスマーク、トレードネームのライセンス所有者であり、MSCI指数は、当ファンドまたは当ファンドの委託会社あるいは受益者に関わらず、MSCIにより決定、作成および計算されています。いずれのMSCI関係者も、MSCI指数の決定、作成あるいは計算において、当ファンドの委託会社または受益者の要求を考慮にいれる義務は一切ありません。いずれのMSCI関係者も、当ファンドの募集等に関する事項の決定について、また、当ファンドを換金するための計算式の決定また計算について責任を負うものではなく、参加もしていません。いずれのMSCI関係者も、当ファンドの受益者に対し、当ファンドの管理、マーケティングまたは募集に関連するいかなる義務または責任も負いません。

MSCIは、自らが信頼できると考える情報源からMSCI指数の計算に算入または使用するための情報を入手しますが、いずれのMSCI関係者も、MSCI指数またはそれに含まれるデータの独創性、正確性および／または完全性について保証するものではありません。いずれのMSCI関係者も、明示的にも黙示的にも、被許諾者、その顧客または相手方、当ファンドの委託会社、当ファンドの受益者その他の個人・法人が、契約にもとづき許諾される権利またはその他使用のために許諾される権利に関連してMSCI指数またはそれに含まれるデータを使用することにより得られる結果について保証を行うものではありません。いずれのMSCI関係者も、MSCI指数またはそれに含まれるデータの、またはそれに関連する誤り、欠落または中断について責任を負いません。また、MSCI指数およびそれに含まれるデータの各々に関し、いずれのMSCI関係者も明示的または黙示的な保証を行なうものではなく、かつMSCI関係者は、特定目的のための市場性または適切性について、何ら保証を行うものではないことを明記します。前記事項を制限することなく、たとえ直接的損害、間接的損害、特別損害、懲罰的損害、拡大的損害その他のあらゆる損害(逸失利益を含む。)につき、その可能性について知らせを受けていたとしても、MSCI関係者は、いかなる場合においてもかかる損害について責任を負いません。当ファンドの購入者、販売者、または受益者あるいはいかなる個人・法人は、MSCIの承認が必要か否かの確認を事前にMSCIに求めることなく、当ファンドを支持、保証、販売または販売促進するためにいかなるMSCIの商号、商標またはサービスマークを使用または言及することはできません。いかなる個人または法人は、事前にMSCIの書面による許諾を得ることなくMSCIとの関係を一切主張することはできません。